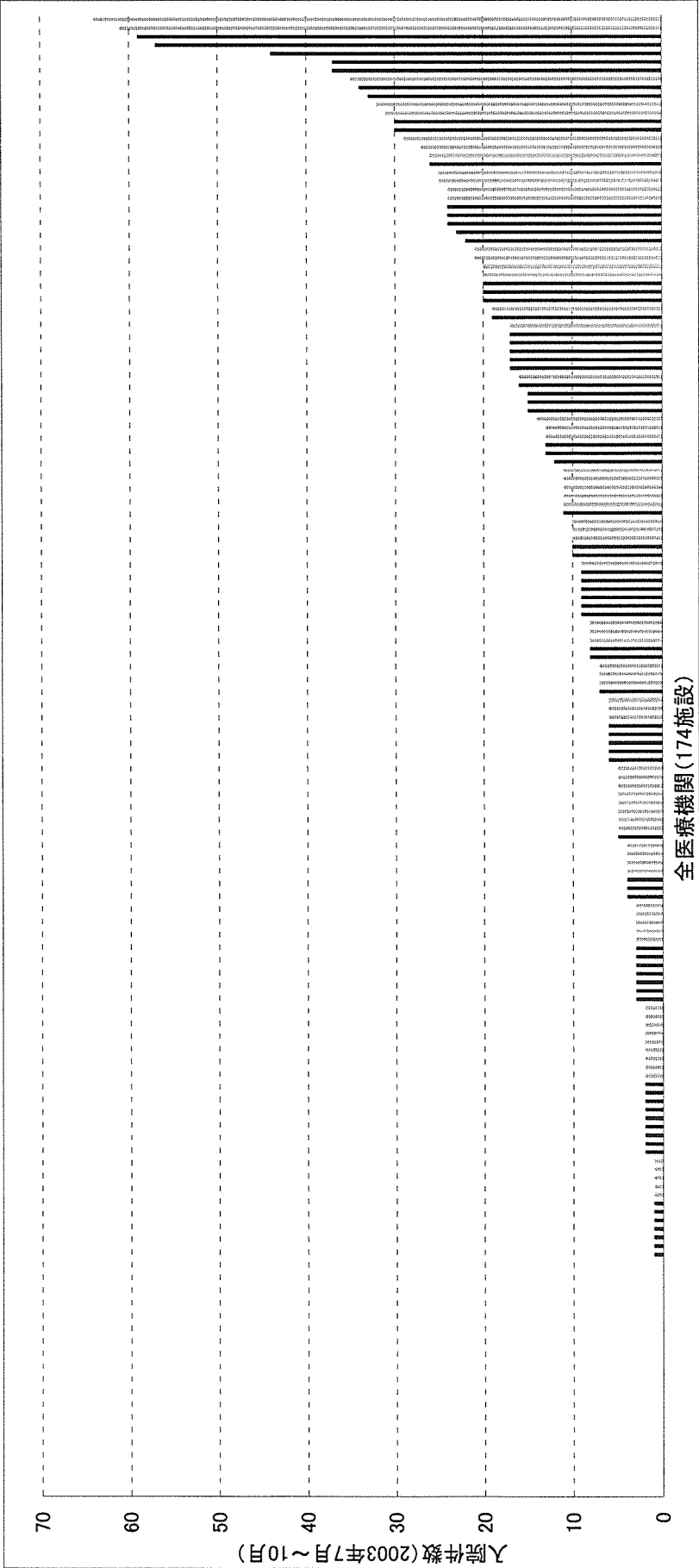


2型糖尿病(教育入院)の入院件数

解析対象DPC番号の範囲 1000702

分類名	対象	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル						
							5	10	25	50	75	90	95
2型糖尿病(教育入院)の入院件数	入院件数	1,796	10.3	12.4	0	64	0	0	2	6	16	26	33
	特定機能病院	828	4.8	9.8	0	64	0	0	0	0	5	17	25
	その他の参加病院	968	5.6	10.5	0	59	0	0	0	0	6	20	27



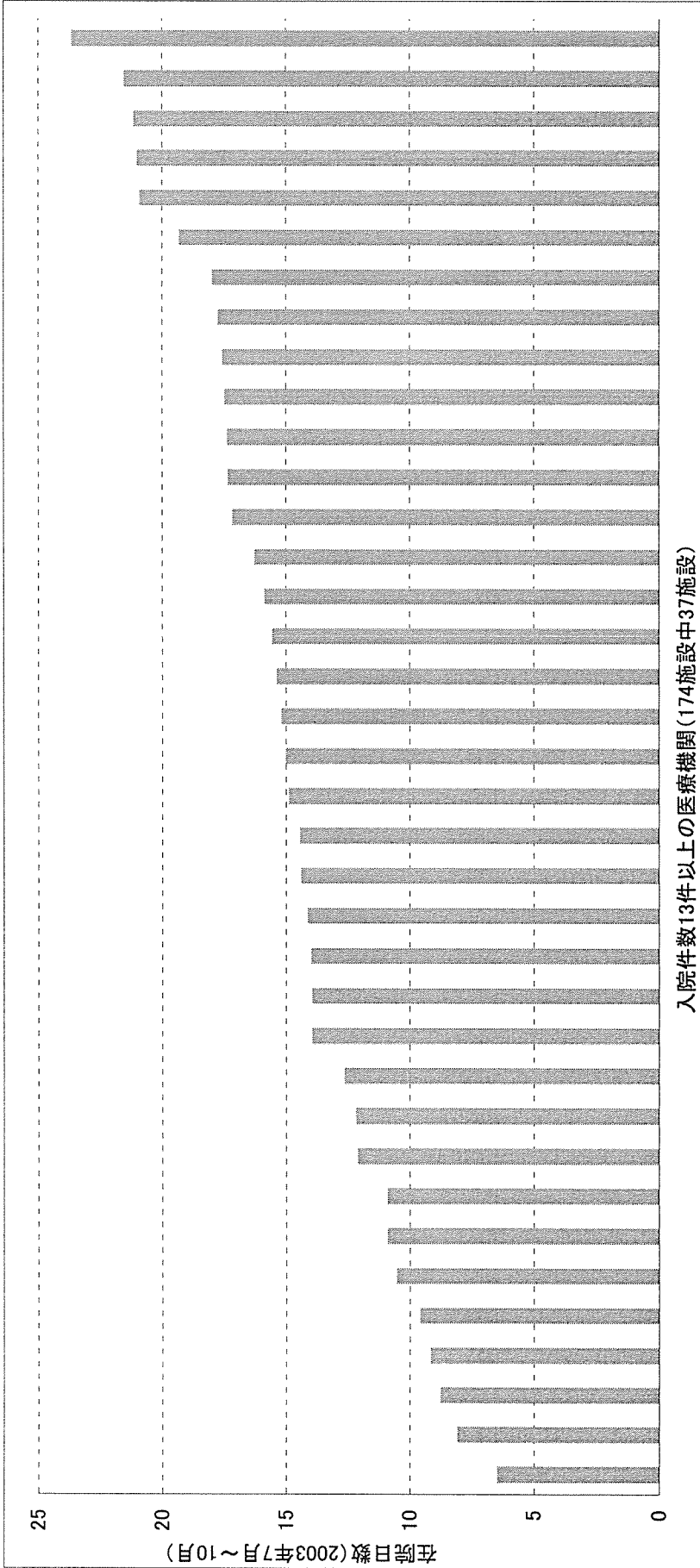
【図の説明】

【コメント】

- ・2型糖尿病の件数は、MDC10 の全症例数の約28%占めていた。
- ・2型糖尿病の症例数1例以上の医療機関は(全体の41%(71施設))において1件以上の症例が見られた。

2型糖尿病(教育入院)における平均在院日数(N = 1,067)

解析対象DPC番号の範囲		1000702		パーセンタイル									
分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95	
2型糖尿病(教育入院)	在院日数	15.0	4.1	6.5	23.7	8.6	9.4	12.2	15.0	17.5	20.9	21.2	



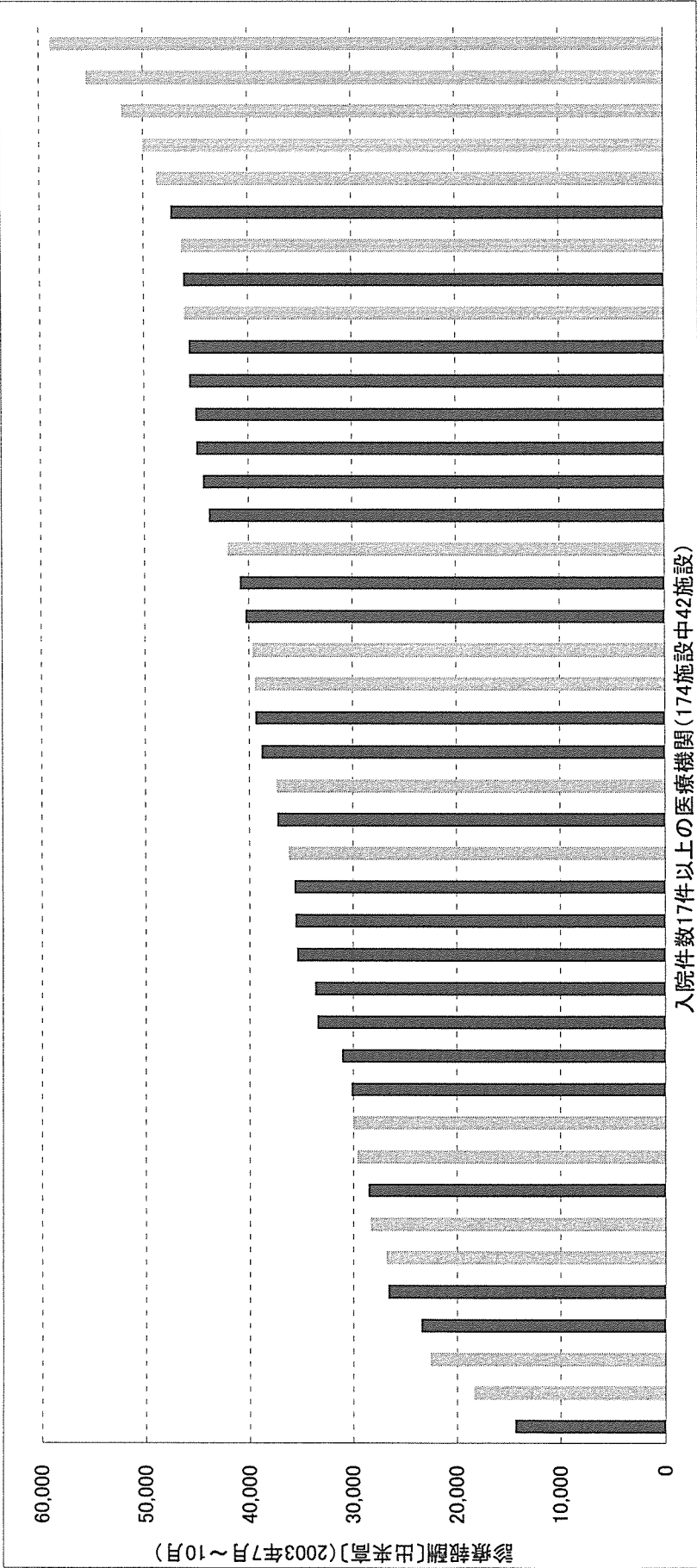
【図の説明】 外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(13件以上)の施設を解析対象とした。
：2型糖尿病の平均在院日数

【コメント】

- ・約半数の医療機関の平均在院日数が15日未満であった。
- ・2型糖尿病(教育入院)平均在院日数には、医療機関で大きなバラツキが見られた。

2型糖尿病(教育入院)における一入院当たり診療報酬〔出来高〕平均値(N = 1,141)

解析対象DPC番号の範囲		1000702											パーセンタイル				
分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95					
2型糖尿病	診療報酬[出来高]	37,991	9,809	14,403	58,904	22,589	26,653	30,391	39,107	45,475	48,567	51,912					
	特定機能病院(18施設)[出来高換算総点数]	39,324	11,633	18,364	58,904	21,917	25,538	29,715	39,526	48,107	53,041	55,960					
	その他の参加病院(24施設)[出来高制度の総点数]	36,991	8,311	14,403	47,381	23,919	27,209	32,863	38,078	44,508	45,637	46,079					



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(17件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■: 特定機能病院

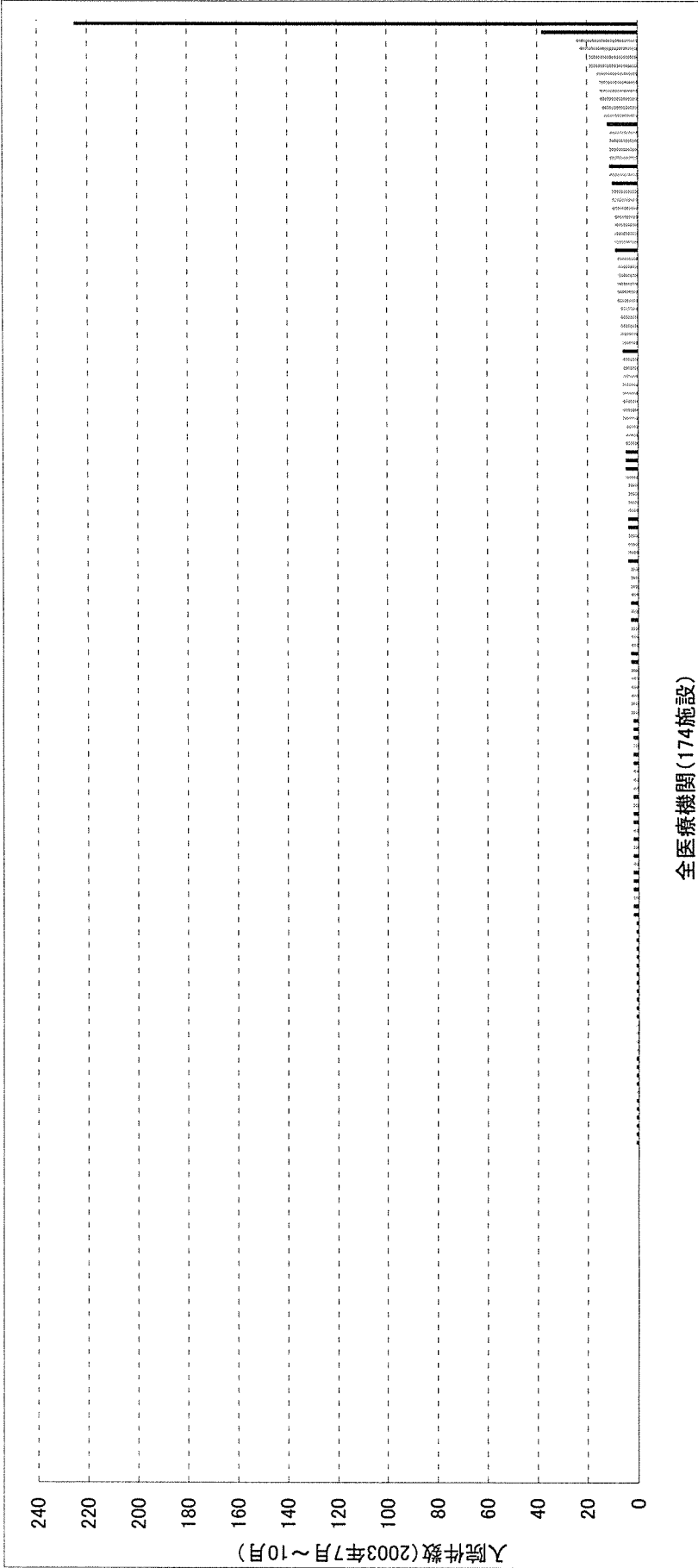
【コメント】

・2型糖尿病の診療報酬〔出来高〕(一入院当たり)は、医療機関で3倍近いバラツキが見られた。これは平均在院日数を反映したものと考えられる。

甲状腺機能亢進症の入院件数

解析対象DPC番号の範囲 1001403

分類名	対象	入院件数	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル						
								5	10	25	50	75	90	95
甲状腺機能亢進症	入院件数		939	5.4	17.6	0	225	0	0	1	2	6	11	15
	特定機能病院件数		537	3.1	4.8	0	24	0	0	0	0	5	10	13
	その他の参加病院件数		402	2.3	17.3	0	225	0	0	0	0	1	2	5



【図の説明】

特定機能病院

その他の参加病院

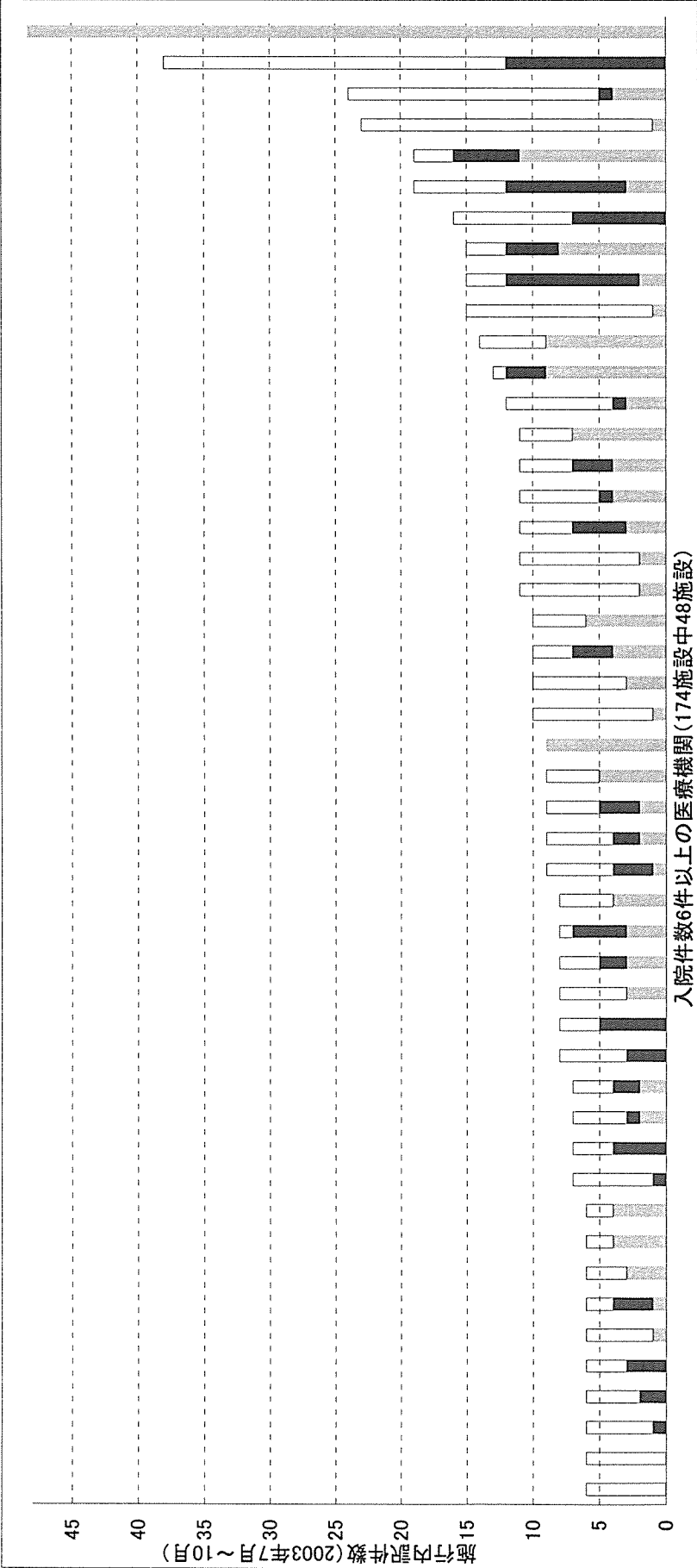
【コメント】

- ・甲状腺機能亢進症の症例数1例以上の医療機関は134施設(全体の77%)において見られた。
- ・甲状腺機能亢進症の症例数が多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。
- ・甲状腺機能亢進症の症例数は、医療機関で大きなバラツキが見られた。

甲状腺機能亢進症の施行内訳件数 (N = 735)

解析対象DPC番号の範囲 1001403x01および1101403x02および1001403x97および1101403x99x1および1001403x99x2

解析対象DPC番号の範囲 1001403x01および1101403x02および1001403x97および1101403x99x1および1001403x99x2													
分類名	対象	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
甲状腺機能亢進症	全入院件数	735	15.3	31.5	6	225	6	6	7	9	12	19	24
	手術なし	321	6.7	8.0	0	49	1	2	3	4	6	11	21
	内科的療法	103	2.1	2.8	0	12	0	0	0	1	3	5	8
	手術療法	311	6.5	25.0	0	175	0	0	1	3	4	8	9



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(6件以上)の施設を解析対象とした。(最も症例数の多かった施設は45例で切った)

手術療法
内科的療法
手術なし
【DPC手術コード:99】

【DPC手術コード:97】

【DPC手術コード:01,02】

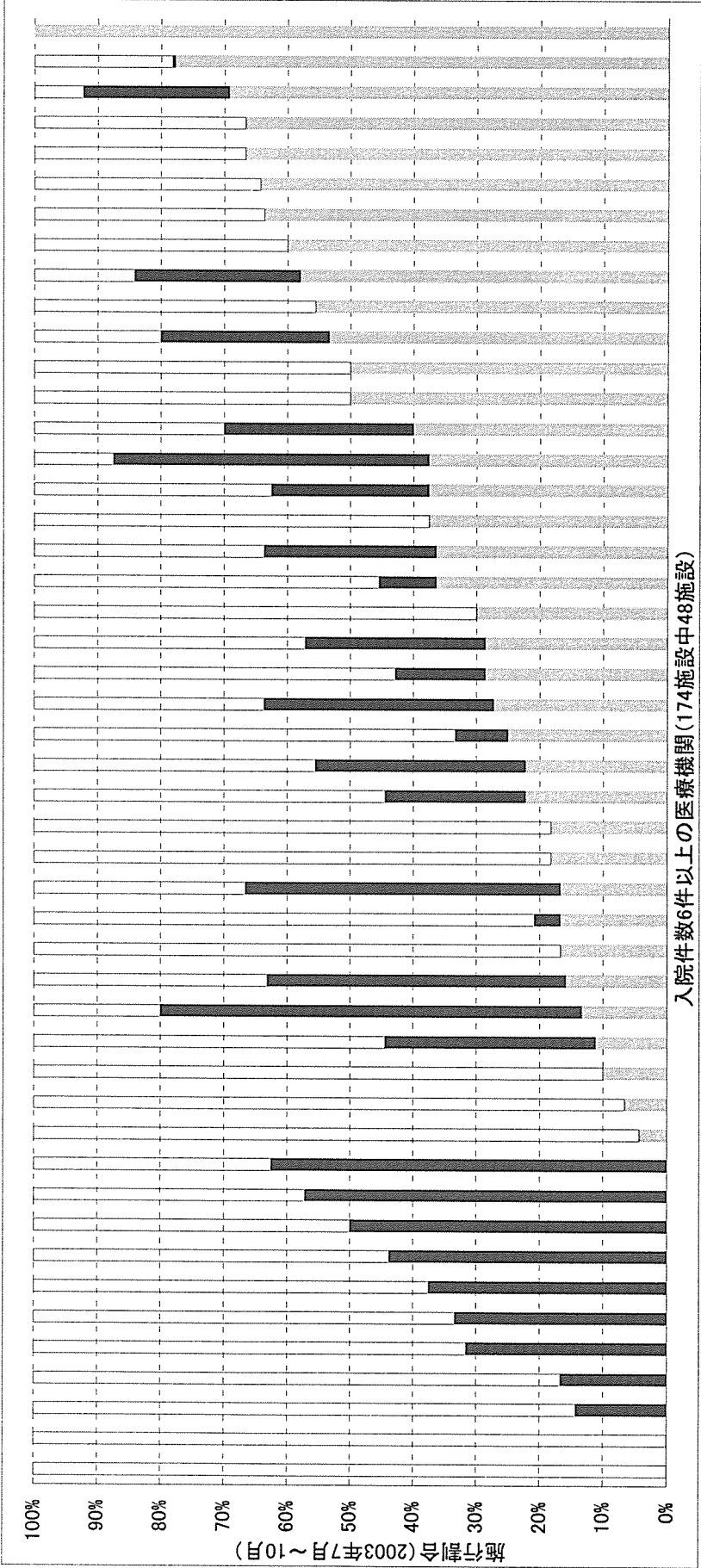
【コメント】

- ・甲状腺機能亢進症では、全体的に見ると治療なしの割合が多かった。
- ・最も症例数の多かった医療機関では、手術療法が78%、内科的療法が0%、手術なしが22%であった。

甲状腺機能亢進症の治療内訳割合 (N = 735)

解析対象DPC番号の範囲 1001403x01および1101403x02および1001403x97および1001403x99x1および1001403x99x2

解析対象DPC番号の範囲		1001403x01および1101403x99x1および1001403x97および1001403x99x2												パーセンタイル				
分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95						
甲状腺機能亢進症	手術なし	52%	26%	0%	100%	14%	20%	36%	50%	69%	87%	95%						
	内科的療法	19%	20%	0%	67%	0%	0%	0%	14%	33%	50%	55%						
	手術療法	29%	26%	0%	100%	0%	0%	6%	24%	50%	65%	68%						



【図の説明】

件数上位25%(6件以上)の施設を解析対象とした。

■ : 手術療法

■ : 内科的療法(放射性ヨード(¹³¹I)内用療法、エタノールの局所注入)

□ : 手術なし

【DPC手術コード:01,02】

【DPC手術コード:97、Jコード:J017】

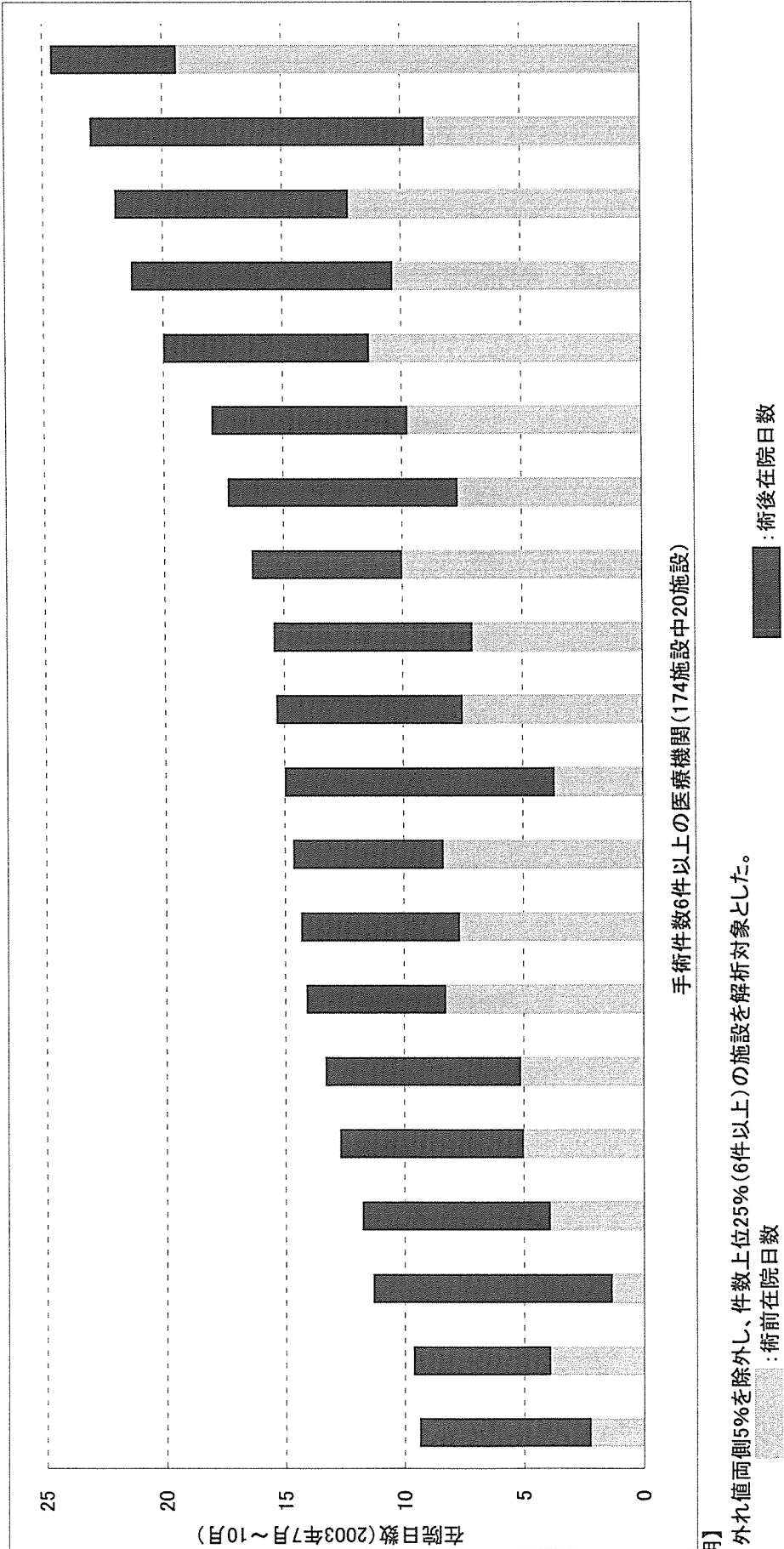
【DPC手術コード:99】

【コメント】

- ・甲状腺機能亢進症では、全体として手術療法が全症例の42%(311件)、内科的療法が14%(103件)であった。
- ・治療法として、外科的治療を選択するか内科的治療を選択するかは、医療機関により大きく異なった。

甲状腺機能亢進症に対し手術を施行した症例における平均在院日数(N = 270)

解析対象DPC番号の範囲						1001403x01および1101403x02							パーセンタイル						
分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95							
甲状腺機能亢進症	在院日数	16.0	4.4	9.4	24.6	9.7	11.2	13.2	15.2	18.5	22.1	23.1							
	術後日数	8.3	2.2	5.3	14.0	5.8	5.9	6.6	8.1	9.7	11.0	11.5							
	術前日数	7.7	4.1	1.3	19.4	2.2	3.5	4.7	7.7	9.8	11.4	12.6							



【図の説明】

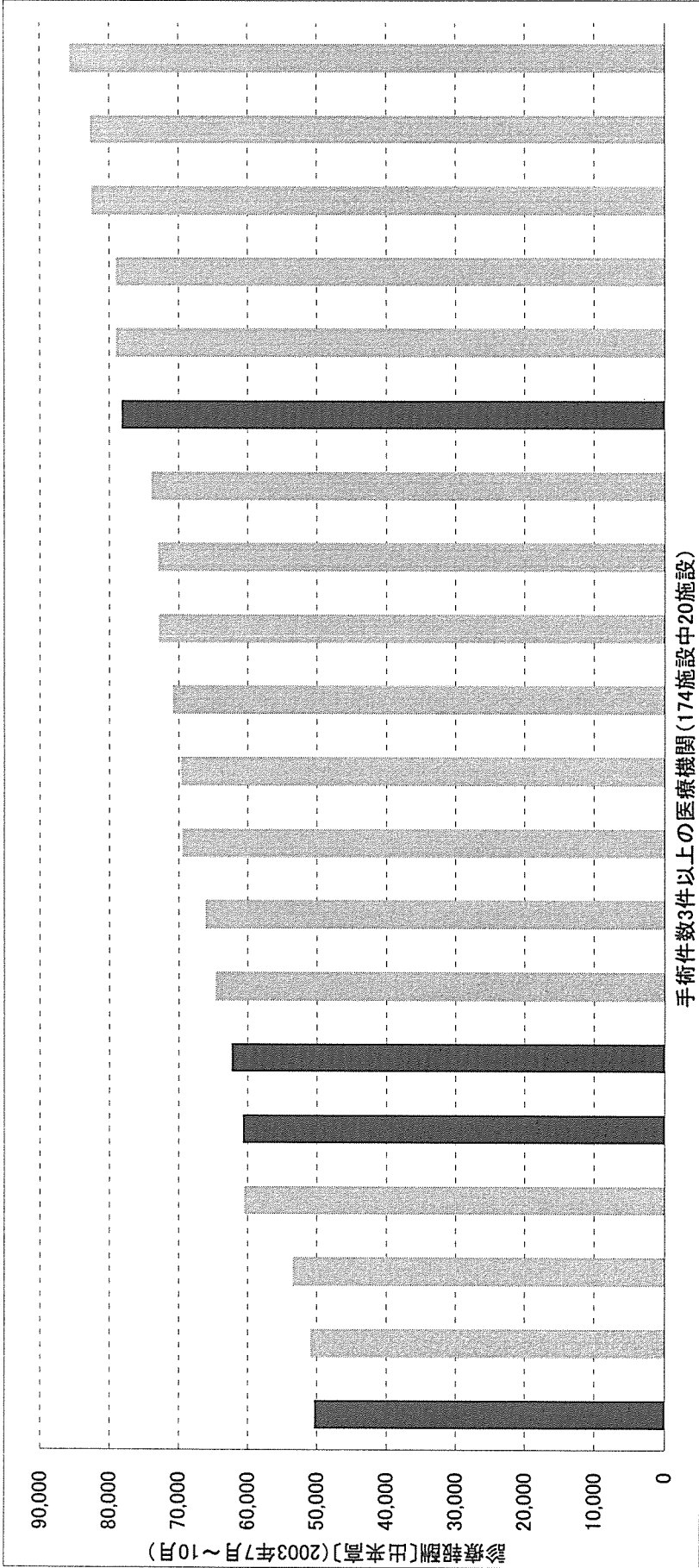
外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(6件以上)の施設を解析対象とした。

【コメント】

- ・甲状腺機能亢進症の平均在院日数には、医療機関でバラツキが見られた。

甲状腺機能亢進症に対し手術を施行した症例における一入院当たり診療報酬〔出来高〕平均値(N = 269)

解析対象DPC番号の範囲		1001403x01および1101403x02		パーセンタイル									
分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95	
甲状腺機能亢進症	診療報酬〔出来高〕	69,267	10,539	50,377	85,615	50,897	53,261	61,914	70,220	78,338	82,482	82,781	
	特定機能病院(16施設)〔出来高換算総点数〕	70,864	10,040	50,924	85,615	52,871	56,988	65,713	71,835	78,956	82,549	83,377	
	その他の参加病院(4施設)〔出来高制度の総点数〕	62,877	11,463	50,377	78,134	51,921	53,464	58,094	61,499	66,281	73,393	75,764	



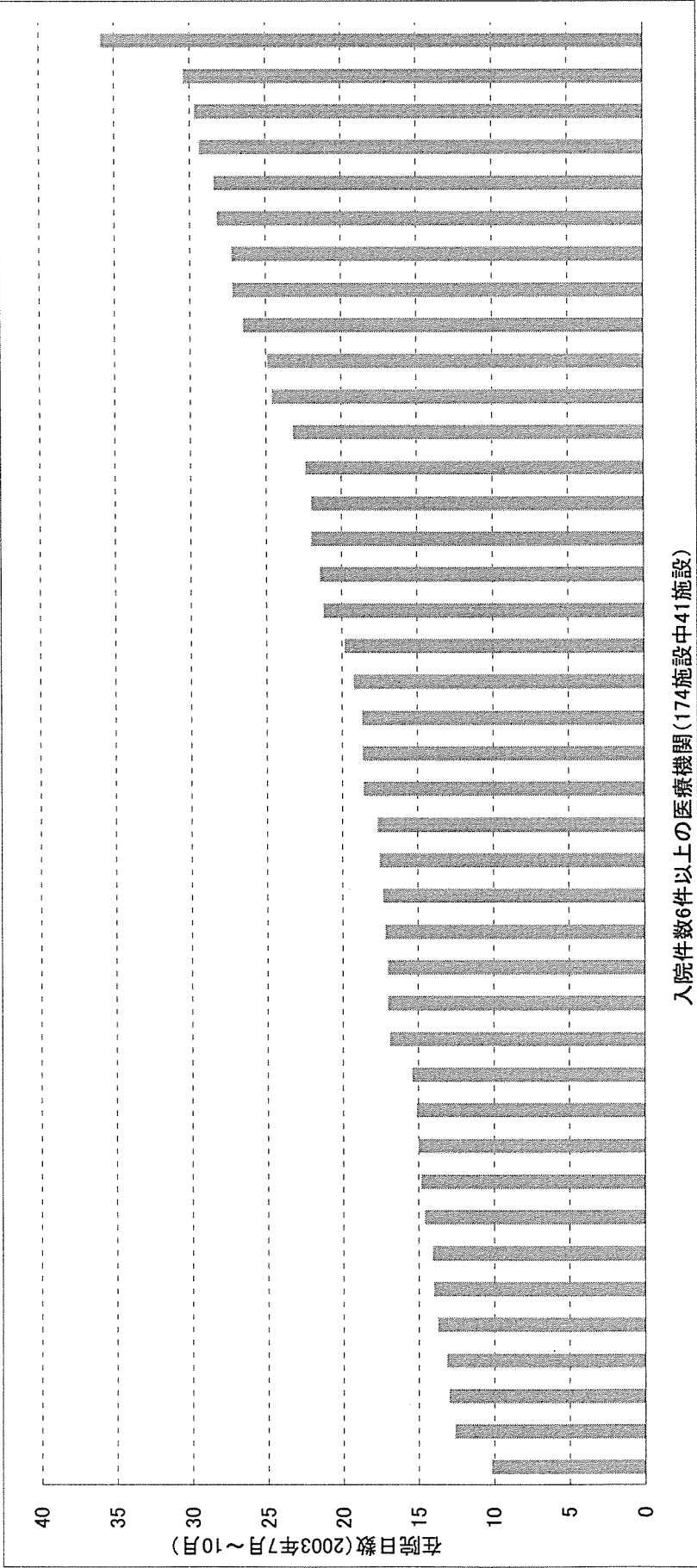
【図の説明】 外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(6件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。
■:特定機能病院
□:その他の参加病院

【コメント】 ・甲状腺機能亢進症の診療報酬〔出来高〕は、特定機能病院の方が高い傾向にあった。

甲状腺機能亢進症に対し手術を施行しなかった症例における平均在院日数

解析対象DPC番号の範囲 1001403x97および1101403x99

解析対象DPC番号の範囲		1001403x97および1101403x99		パーセンタイル								
分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
	在院日数	20.1	6.0	10.2	35.9	13.0	13.7	15.1	18.6	24.6	28.4	29.7
甲状腺機能亢進症												



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(6件以上)の施設を解析対象とした。

：平均在院日数

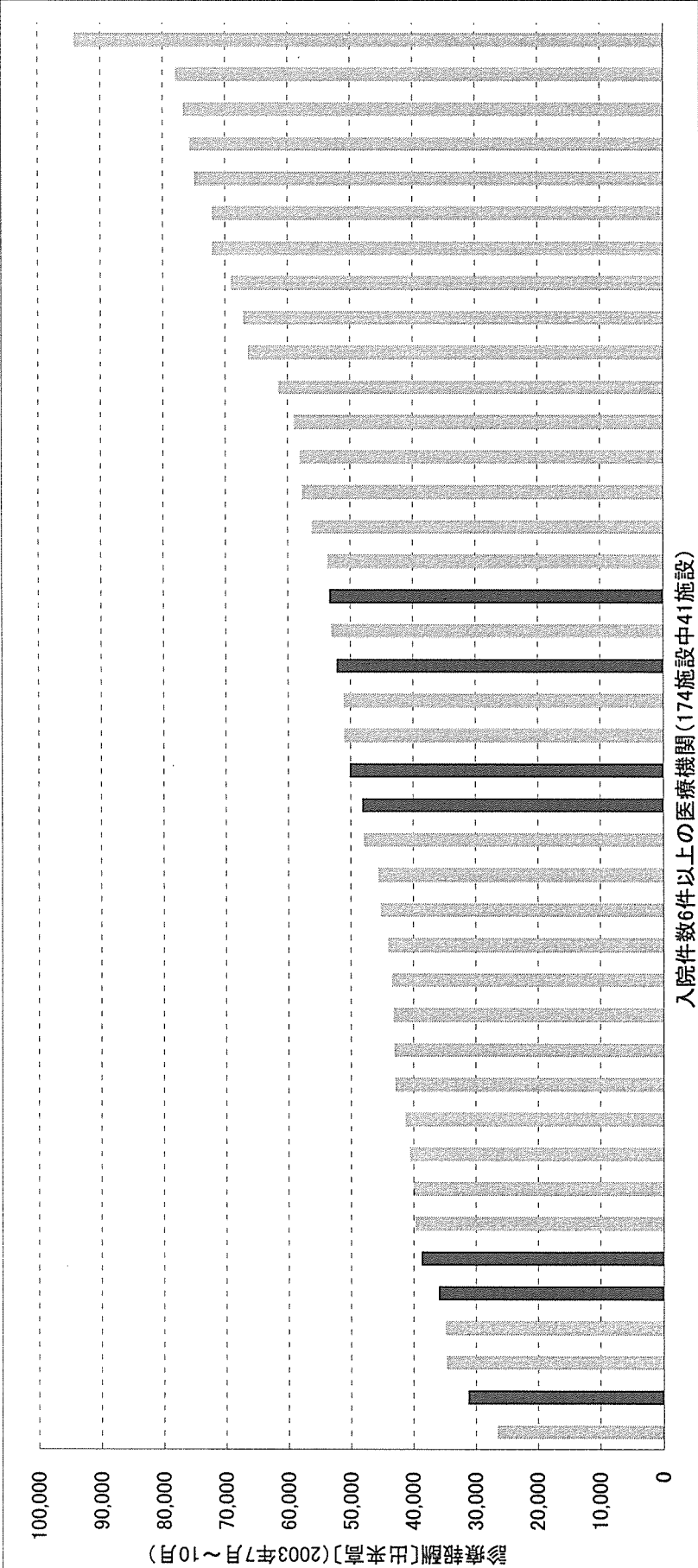
【コメント】

・甲状腺機能亢進症の平均在院日数には、医療機関でバラツキが見られた。

甲状腺機能亢進症に対し手術を施行しなかった症例における一入院当たり診療報酬〔出来高〕平均値(N = 397)

解析対象DPC番号の範囲 1001403x97および1101403x99

分類名	対象	パーセンタイル										
		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
甲状腺機能亢進症	診療報酬〔出来高〕	52,914	15,003	26,501	94,191	34,728	35,989	42,867	50,988	61,465	74,814	76,660
	特定機能病院(34施設)〔出来高換算総点数〕	54,695	15,480	26,501	94,191	34,880	39,795	43,082	52,045	66,913	75,406	77,101
	その他の参加病院(7施設)〔出来高制度の総点数〕	44,260	8,783	31,274	53,357	32,688	34,103	37,362	48,132	51,166	52,659	53,008



【図の説明】
外れ値両側5%を除く、件数上位25%(6件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。
■: 特定機能病院
■: その他の参加病院

【コメント】
・甲状腺機能亢進症の診療報酬〔出来高〕(一入院当たり)は、特定機能病院の方が高い傾向にあった。

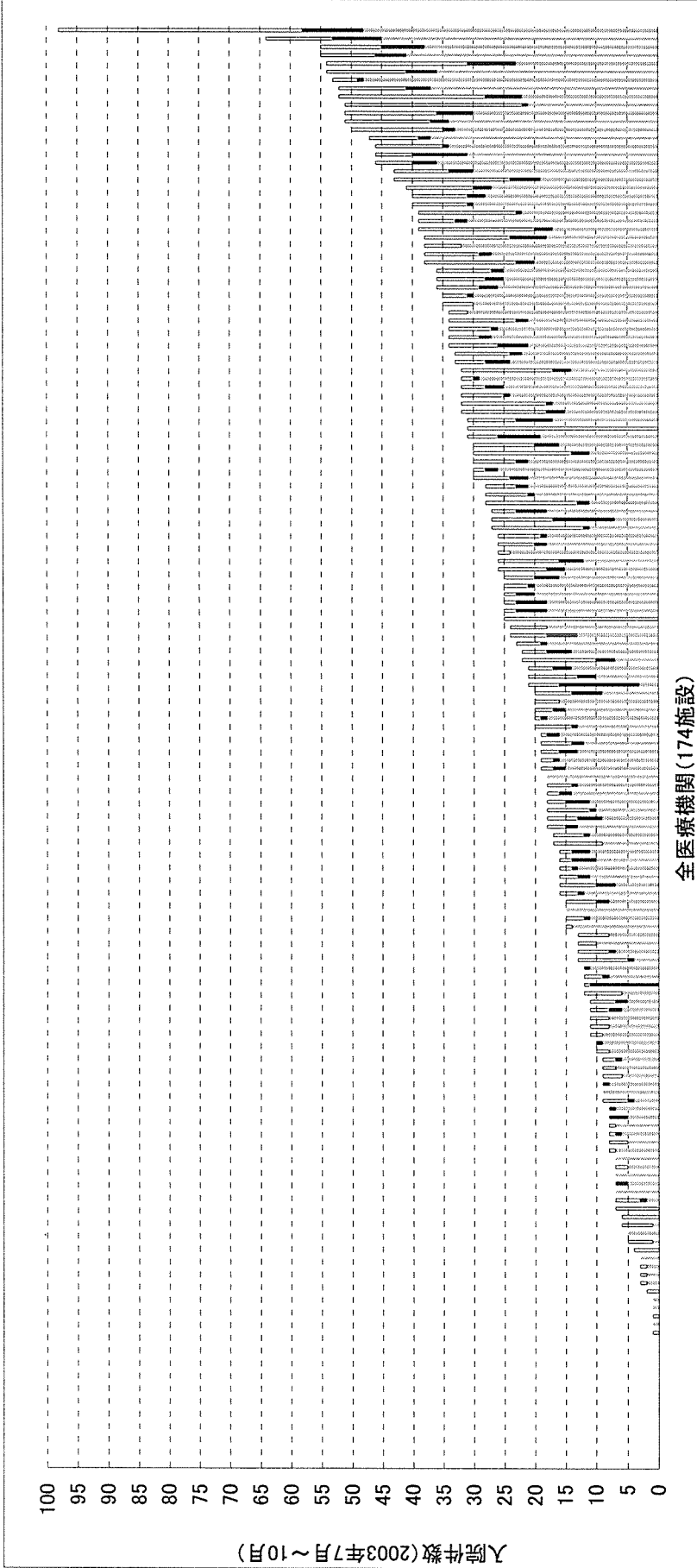
MDC11

腎・尿路系疾患及び
男性生殖器系疾患

膀胱腫瘍の入院件数

解析対象DPC番号の範囲 1100703

分類名	解析内容		入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル						
	入院件数							5	10	25	50	75	90	95
膀胱腫瘍		入院件数	3,755	22	16	0	98	0	1	8	19	32	43	51



【図の説明】

■ : 膀胱悪性腫瘍経尿道的手術(TUR-Bt) [DPC手術コード:06]

□ : 膀胱腫瘍の入院件数(その他)

■ : 膀胱悪性腫瘍手術切除等 [DPC手術コード:01]

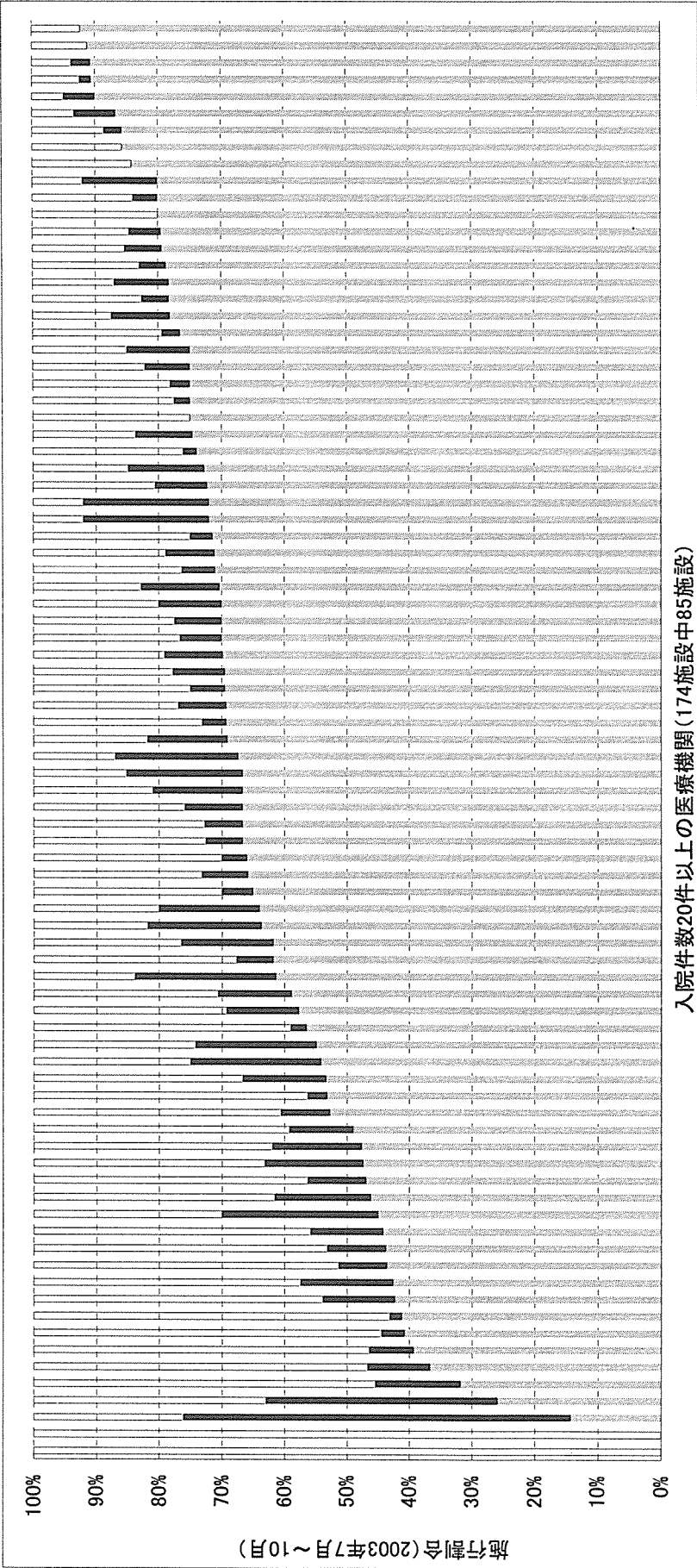
【コメント】

- 膀胱腫瘍の入院件数は、MDC11の全件の約10%を占めていた。
- 全体の91%(158施設)において1件以上の入院が見られた。

膀胱腫瘍の治療内訳(N = 2,973)

解析対象DPC番号の範囲 1100703x01および1100703x06

解析対象DPC番号の範囲		1100703x01および1100703x06		パーセンタイル									
分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95	
膀胱腫瘍	その他の治療の割合	27%	17%	5%	100%	8%	10%	16%	23%	33%	47%	54%	
	癌の膀胱切除・全摘術の割合	10%	9%	0%	62%	0%	2%	4%	8%	13%	19%	21%	
	TUR-Btの割合	63%	19%	0%	92%	33%	42%	53%	69%	75%	83%	89%	



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。

■ : 膀胱悪性腫瘍経尿道的手術(TUR-Bt)[DPC手術コード:06]

□ : その他の治療

・TUR-Btが治療全体の6割強を占めた。

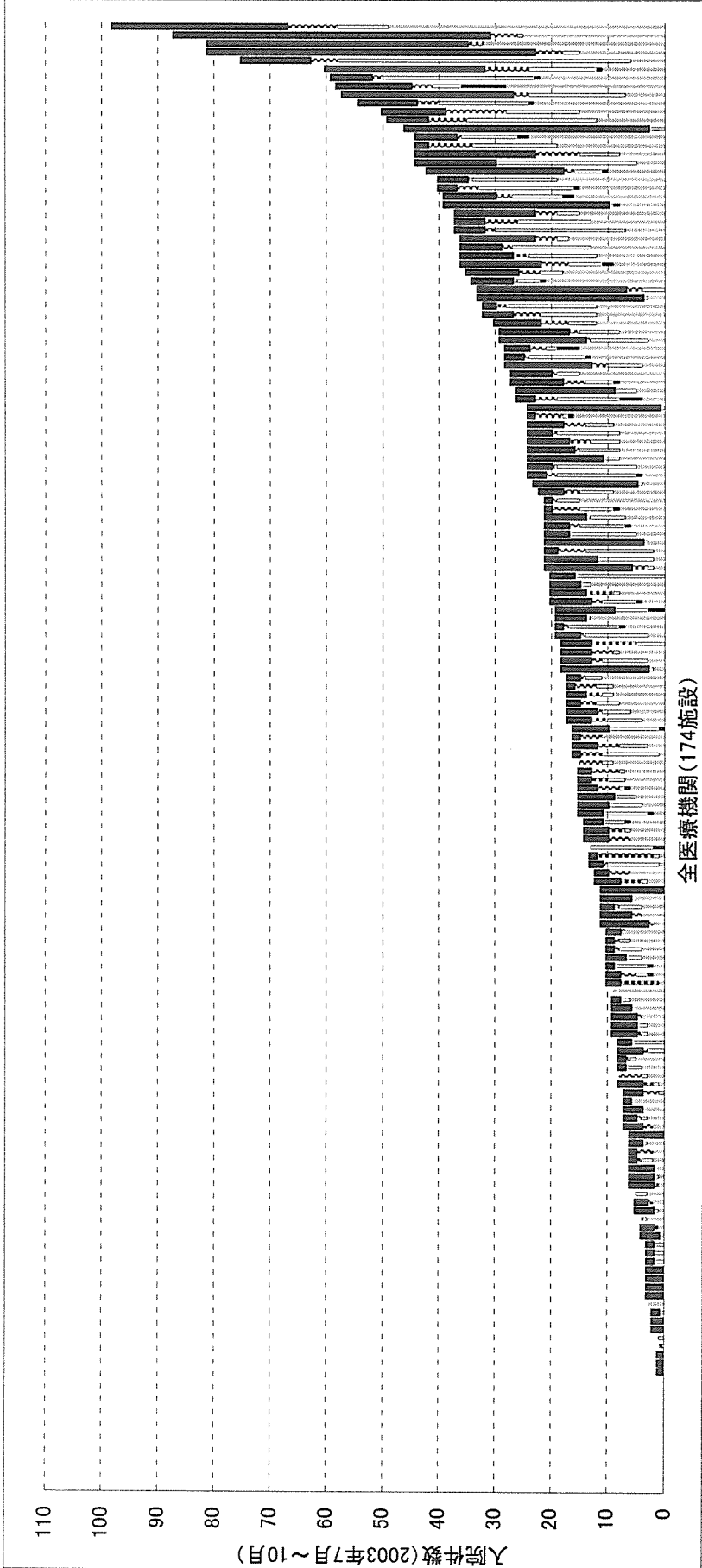
・TUR-Btがまったく施行されない施設では、膀胱切除術も施行されていない。

【コメント】

前立腺の悪性腫瘍の入院件数

解析対象DPC番号の範囲 1100803

分類名	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル							
							5	10	25	50	75	90	95	
前立腺の悪性腫瘍	入院件数	3,383	19	18	0	98	0	1	7	16	26	41	55	



【図の説明】

- 前立腺精嚢手術のみ[DPC手術コード:01かつ化学・放射線療法ともし]
- 前立腺精嚢手術に化学・放射線療法併用[DPC手術コード:01かつ化学または放射線療法あり]
- 化学または放射線療法のみ[DPC手術コード:99かつ化学または放射線療法あり]
- その他の外科的治療[DPC手術コード:02/03/97]
- その他の内科的治療[DPC手術コード:99かつ化学・放射線療法ともし]

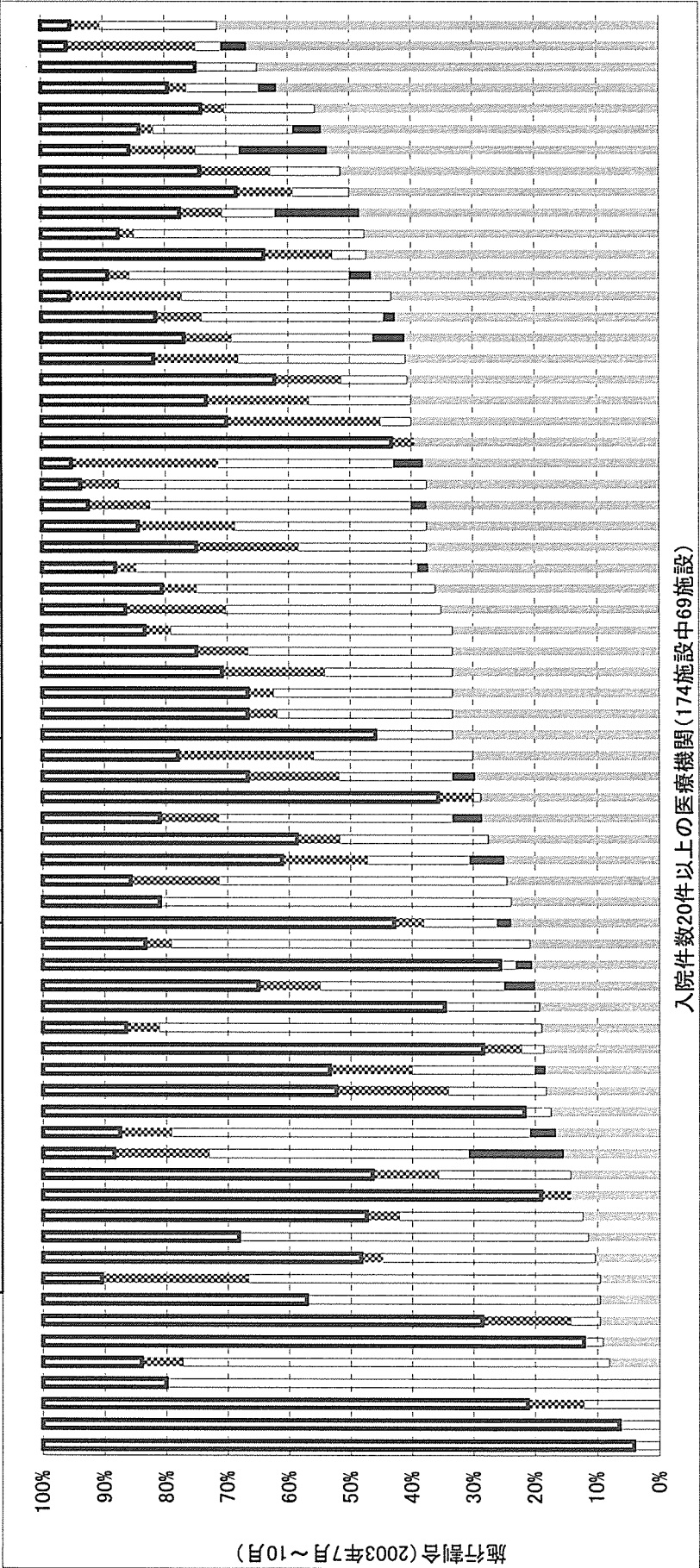
【コメント】

- 膀胱腫瘍の入院件数は、MDC11の全件の約9%を占めていた。
- 全体の92%(160施設)において1件以上の入院が見られた。

前立腺の悪性腫瘍の治療内訳(N = 2,493)

解析対象DPC番号の範囲 1100803×01

解析対象DPC番号の範囲		1100803x01	パーセンタイル									
分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
前立腺の悪性腫瘍	その他の内科的治療	34%	24%	4%	96%	5%	10%	16%	26%	48%	72%	80%
	その他の外科的治療	8%	7%	0%	25%	0%	0%	4%	7%	14%	17%	22%
	化学または放射線療法のみ	26%	19%	0%	80%	3%	4%	11%	23%	38%	57%	58%
	前立腺精嚢手術に化学・放射線併用のものの割合	2%	3%	0%	15%	0%	0%	0%	0%	2%	5%	5%
	前立腺精嚢摘出手術の割合	30%	17%	0%	71%	3%	10%	18%	33%	41%	52%	59%



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。

：前立腺精嚢手術のみ[DPC手術コード:01かつ化学・放射線療法ともし]

：前立腺精嚢手術に化学・放射線療法併用[DPC手術コード:01かつ化学または放射線療法あり]

：化学または放射線療法のみ[DPC手術コード:99かつ化学または放射線療法あり]

：その他の外科的治療[DPC手術コード:02/03/97]

：その他の内科的治療[DPC手術コード:99かつ化学・放射線療法ともし]

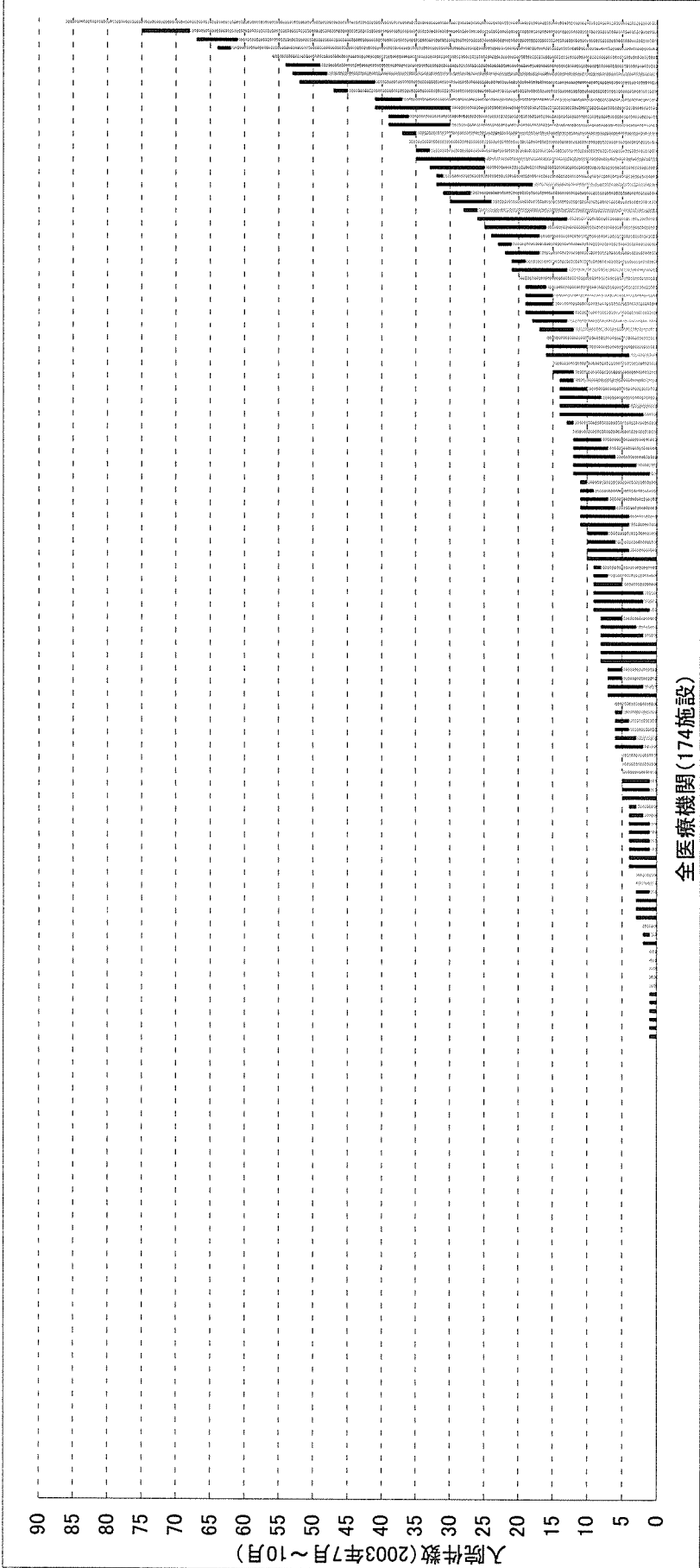
【コメント】

・治療の選択は前立腺性能摘出手術、化学療法または放射線療法、その他の内科的治療の3つが主流でその割合はかなりの施設差がみられた。

上部尿路結石症の入院件数

解析対象DPC番号の範囲 1101203

分類名	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
	入院件数	1,938	11	16	0	86	0	0	0	5	14	33	43
上部尿路結石症													



全医療機関(174施設)

【図の説明】

：体外衝撃波腎・尿管結石破碎術(ESWL)[DPC手術コード：04]

：その他

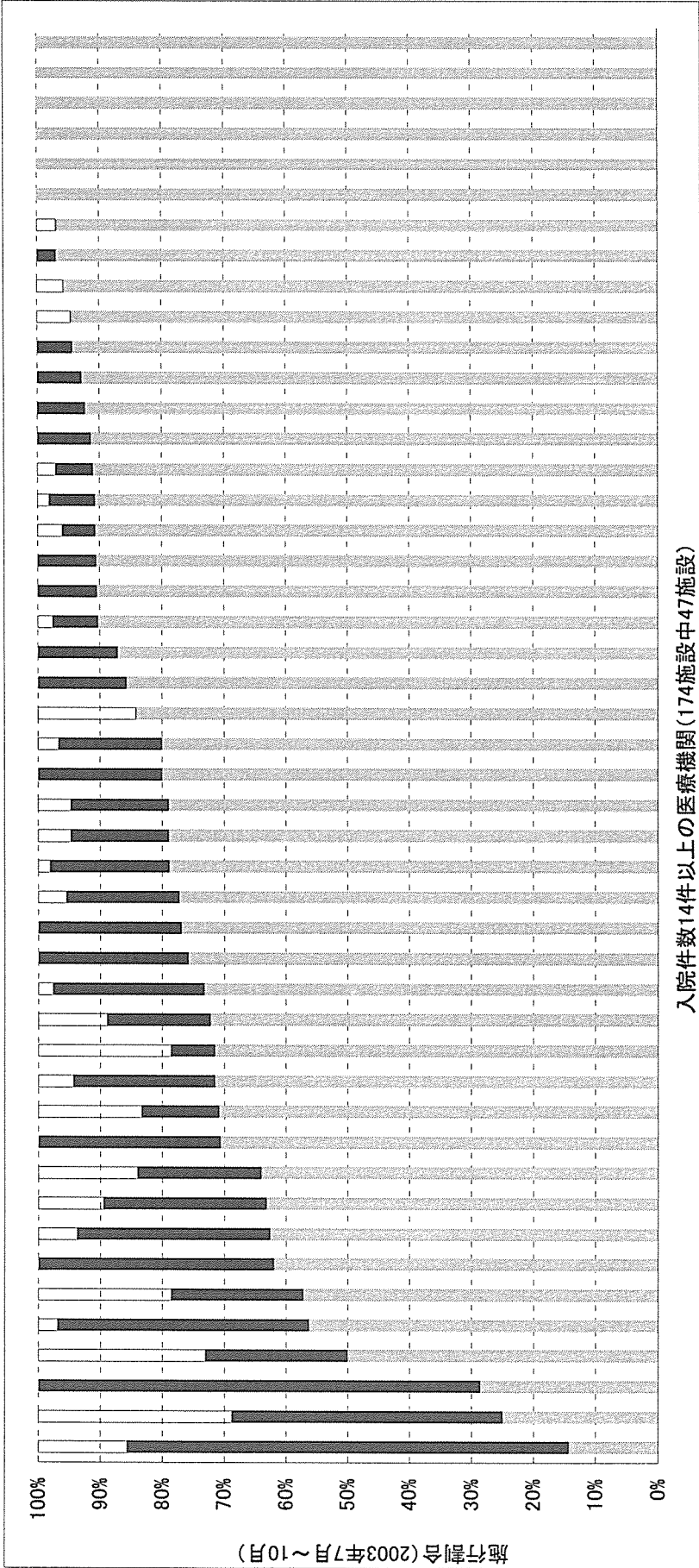
【コメント】

- ・膀胱腫瘍の入院件数は、MDC11の全件の約7%を占めていた。
- ・全体の96%(167施設)において1件以上の入院が見られた。

上部尿路結石症の治療内訳(N = 1,484)

解析対象DPC番号の範囲 1101203x02

解析対象DPC番号の範囲		1101203x02		パーセンタイル									
分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95	
上部尿路結石症	尿管結石根治術に占めるその他の割合	5%	8%	0%	31%	0%	0%	0%	2%	6%	16%	21%	
	尿管結石根治術に占めるTULの割合	16%	16%	0%	71%	0%	0%	6%	13%	23%	34%	43%	
	尿管結石根治術に占めるESWLの割合	79%	20%	14%	100%	35%	57%	71%	80%	93%	100%	100%	



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(14件以上)の施設を解析対象とした。

：体外衝撃波腎・尿管結石破砕術(ESWL)[DPC手術コード:04]

：経尿道的尿路結石除去術(超音波下含む)等<TUL>[DPC手術コード:02]

□ : その他

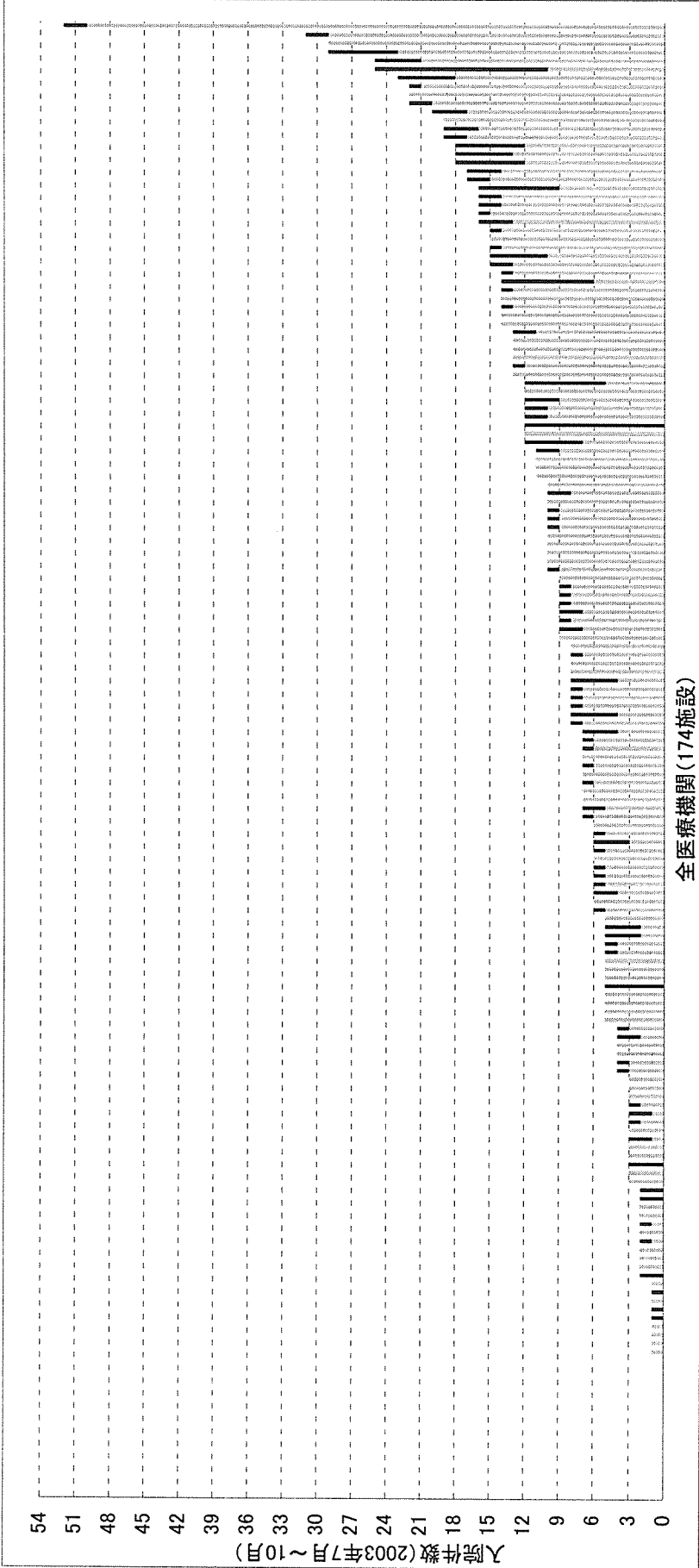
【コメント】

・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術の割合が高かった。施設によるバラツキは少ない。

前立腺肥大症の入院件数

解析対象DPC番号の範囲 1102003

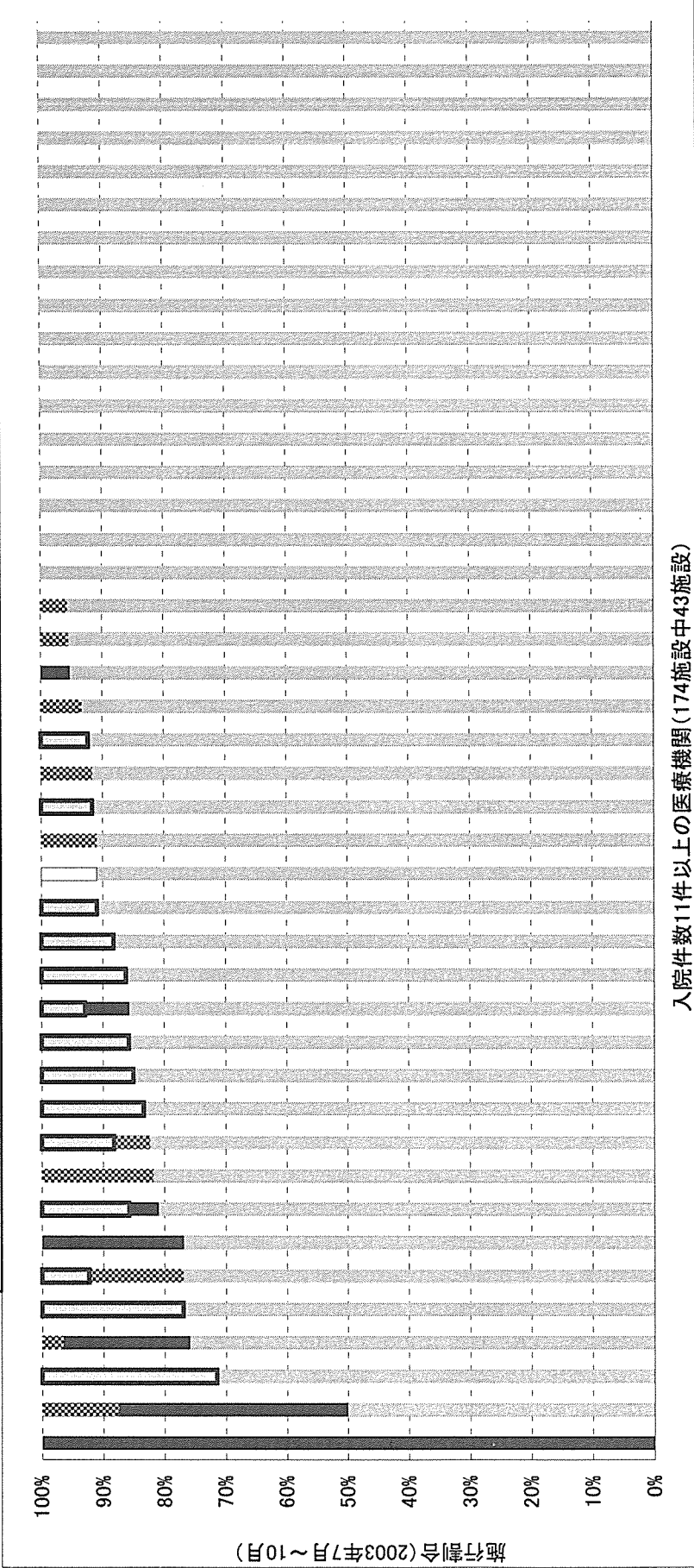
分類名	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル						
							5	10	25	50	75	90	95
前立腺肥大症	入院件数	1,480	9	7	0	52	0	1	3	7	12	17	22



前立腺肥大症に施行する手術の術式選択 (N = 693)

解析対象DPC番号の範囲 1102003x02および1102003x04(1102003x01から1102003x97に対して)

解析対象DPC番号の範囲			1102003x02および1102003x04(1102003x01から1102003x97に対して)											パーセンタイル						
分類名	解析内容		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95							
前立腺肥大症		手術件数に占める被膜下摘出術の割合	4%	7%	0%	29%	0%	0%	0%	0%	8%	14%	17%							
		手術件数に占める内視鏡手術の割合	2%	4%	0%	18%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	12%							
		手術件数に占める経尿道的高温度治療の割合	0%	1%	0%	9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%							
		手術件数に占める経尿道的レーザーの割合	5%	17%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	12%							
		手術件数に占めるTURの割合	89%	17%	0%	100%	72%	77%	84%	92%	100%	100%	100%							



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(11件以上)の施設を解析対象とした。

：経尿道的レーザー前立腺切除術[DPC手術コード:04かつKコード:K841-2]

：尿道狭窄内視鏡手術[DPC手術コード:03]

：経尿道的前立腺手術[DPC手術コード:02]

：経尿道的被膜下摘出手術[DPC手術コード:04かつKコード:K841-3]

：前立腺被膜下摘出手術[DPC手術コード:01]

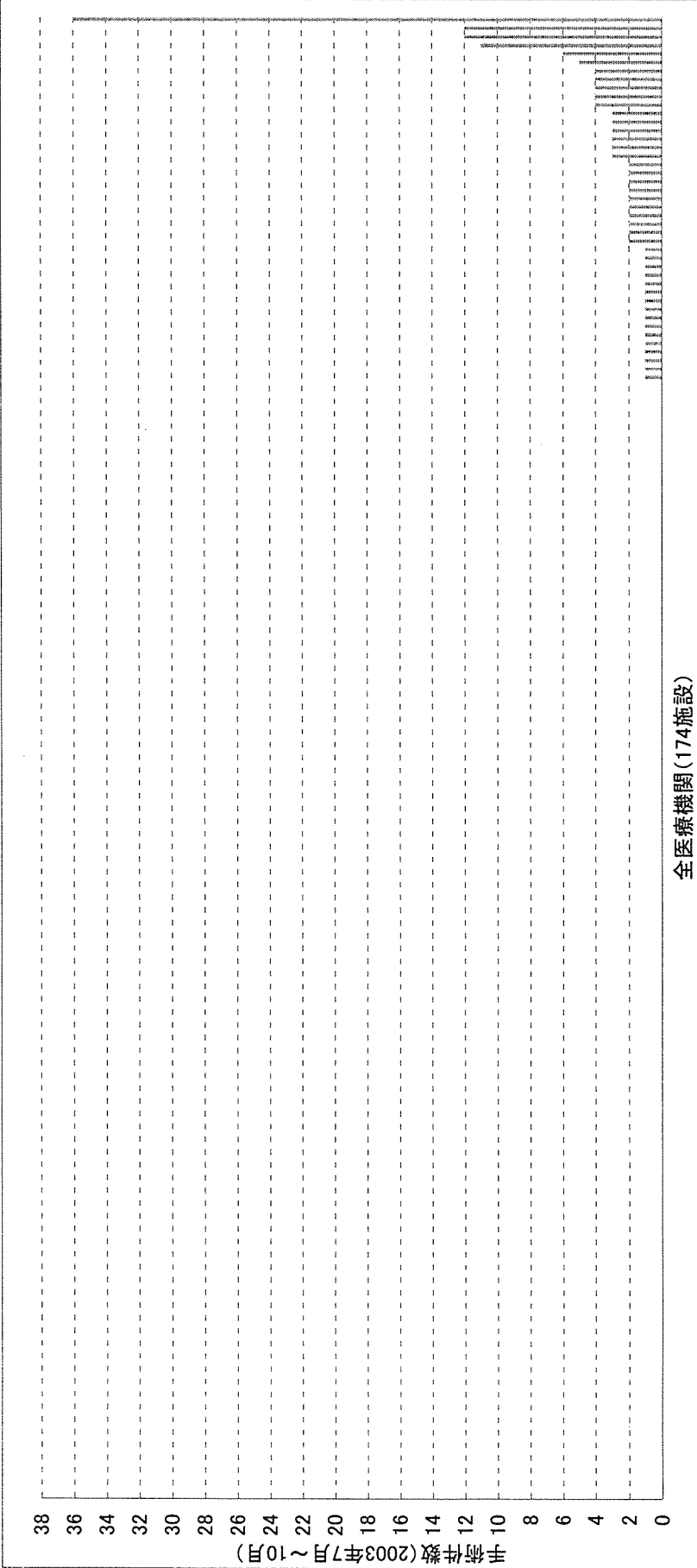
【コメント】

- ・経尿道的アプローチがほとんどを占め、なかでも経尿道的前立腺手術の割合が顕著に高かった。全件をレーザーで行う施設もみられた。
- ・経尿道的前立腺手術以外の術式では、かなりの施設差がみられた。

同種腎移植術の入院件数

解析対象DPC番号の範囲 110260/ 110270/ 110280

分類名	解析内容	手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	ネフローゼ症候群/急性腎炎症候群・急速進行性腎炎症候群/慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全							
							5	10	25	50	75	90	95	
	同種腎移植施行件数	156	1	3	0	36	0	0	0	0	2	4		



【図の説明】

：腎移植の件数

【コメント】

・全体の25%(43施設)において1件以上の手術が見られた。